



定植前の最大葉長に着目した ストックの簡易な八重鑑別

八重咲き



一重咲き



ストックは鑑別品種と無鑑別品種に大きく分類されます。

そのうち鑑別品種の種子には八重咲きと一重咲きが半々で混ざっていますが、一重咲きの切り花販売価格はとても低いので、発芽後に八重咲きと予想される苗の選択（八重鑑別）をしなければなりません。

八重鑑別は従来より、双葉の長さ、形、色、本葉の長さ、形、色、発芽の早晚などなど、いろい

ろなものに着目して総合的に判断していますが、変化は連続的で判断に迷うことがとても多く、熟練を要しています。

このため、新規栽培者を想定し簡便さを最優先した鑑別法を開発しました。

簡易な八重鑑別法の内容と特徴

1. 4葉期（定植前）の最大葉長（第1葉）が大きい苗は八重咲きである傾向が強い。
2. 最大葉長が大きい苗は上位40%を定植することによって、約85%の八重咲き率を期待でき、捨てる苗が少なく効率的である。
3. 鑑別者にとって最大葉長の大小は識別が容易である。

活用面と留意点

1. 新規導入者による鑑別法として有効である。
2. 播種密度など生育環境を均一にするためにセル成型トレイの利用が有効である。
3. 雪波以外の品種は未検討である。
4. 葉が込み合うと鑑別に支障があるので、本葉が出始めた頃、子葉の葉色が明らかに濃い個体を廃棄しておく。

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業研究所 花き園芸担当

TEL (0883) 72-0239 FAX (0883) 72-6868

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>